

[四] 次の漢文を読んで、(一)～(八)の問いに答えなさい。(設問の都合上、訓点を省略した箇所がある。)

孟管君前^ニ在^リ於^テ薛、荊人攻^ム之。淳于髡爲^シ齊使^ニ於^テ荊、還反^リ過^ル於^テ薛。^①孟管君令人禮貌、而親^ニ郊^ニ送^シ之、謂^ヒ淳于髡曰、荊人攻^ム薛。夫子弗^ニ爲^ベ憂^ヘ、文無^ク以復侍^テ矣。淳于髡曰、敬聞命矣。至^リ於^テ齊、^②報^ラ王曰、何見^ニ於^テ荊。對曰、荊甚^ク固。^③而薛亦不量其力。王曰、何謂^ヒ也。對曰、薛不量其力、而爲^シ先王立^テ清廟、荊固^{シテ}而攻^ム薛。清廟必^ク危。故曰、薛不量其力、而荊亦甚^ク固。齊王知^リ顏色曰、噫、先君之廟在^リ焉。^④疾舉^リ兵救^フ之。由^リ是薛遂^ニ全^シ。顛蹙^シ之請、坐拜^シ之謁、雖^モ得^ル則薄^シ矣。故^ニ善說者、陳^ベ其勢、言^ヒ其方、見^ニ人之急^ラ也、若^シ自在^ル危厄之中。豈^ニ用^ヒ彊力^ヲ哉。彊力則鄙^シ矣。說之^レ不^レ聽^{カレ}也、^⑤任不獨在所說、亦在所說者。

(「呂氏春秋」による)

(注) 孟管君 人名。名は文。 薛・荊 地名。 淳于髡 人名。 固 守りを固めるの意。
顛蹙之請 つますき倒れ込むようにして請願するの意。

- (一) 線部分(a)と(d)の漢字の読みを、送り仮名を含めて、平仮名で書け。
- (二) 線部分①を書き下し文にせよ。
- (三) 線部分②について、淳于髡がどのように述べたのはなぜか、その理由を説明せよ。
- (四) 線部分③を解釈せよ。
- (五) 線部分④はどこまでかかるか。末尾の漢字二字を抜き出して示せ。
- (六) 線部分⑤について、淳于髡はどのような点が「善説者」なのか。本文の内容をふまえて説明せよ。
- (七) 線部分⑥に送り点と送り仮名を施せ。
- (八) 「史記」には「孟管君」についての記述があるが、そこに記されている故事について簡潔に説明せよ。